



学校だより

【教育目標】 学ぶ心 思う心 挑む心

令和5年度 第11号

神林中学校(☎66-5313) 令和6年2月28日

第2回生徒総会 生徒会が引き継がれました。

2月16日 令和5年度第2回生徒総会を行いました。

この生徒総会では、今年度1年間の振り返りを行い、その振り返りを元に来年度への引継ぎを行いました。

今年度、神林中学校を引っ張ってきた生徒会役員や委員長、部長が、それぞれの活動の成果や課題を発表しました。

その後、質疑が行われ、たくさんの生徒が質問席に立ち、より良い活動にするために何を続け、何を变えれば良いかについて真剣に質問していました。

質問を受けたリーダー達も、質問してくれたことへ感謝するとともに、自分たちができなかったこと、来年のリーダーに望むことを真摯に回答していました。

議事の後には、令和6年度の生徒会執行委員、専門委員長の任命式と令和5年度生徒会役員から令和6年度生徒会役員への引継ぎ式が行われました。

神林中を動かすリーダーがいよいよ引き継がれ、新しい役員の手で新年度への準備がスタートしました。

3年生の皆さん、1年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。新役員の皆さんよろしくお願ひします。



令和6年度 生徒会執行委員、専門委員長

執行委員	加賀 詩織	平山 杏	木村 凜生	小林 恵衣	小野 緑日
学級委員長	横山みのり				
放送委員長	長柄 青空				
図書委員長	高橋 諒				
保健委員長	佐藤 莉子				
環境委員長	佐藤 千華				
学習委員長	八藤後開次				
生活委員長	森田 悠成				



能登半島地震災害義援金 募金活動を実施

1月1日に発生した能登半島地震で被災した方々へ義援金を送りたいという生徒会学級委員会の発案で、1月29日～31日の3日間、募金活動を行いました。昨年度発生した県北豪雨災害で支援をいただいたことへの感謝もこめ「助け合い」の気持ちをみんなで示そうという生徒の気持ちで始まった臨時の募金活動です。

各クラスで学級委員が呼びかけ、短期間でしたが善意の募金が集まりました。

集まった募金は日本赤十字社を通じて被災地へ送られました。

今こそ「誠意」を伝える挨拶を（2月全校朝会から）

アメリカのアルバート・メラビアンという心理学者は、情報を伝える力について研究し、「メラビアンの法則」というものをまとめました。それによると、コミュニケーションで情報を伝える割合は、「言葉の情報が7%」「耳からの情報が38%」「目からの情報が55%」の割合とされています。つまり、言葉の内容による情報は全体の7%だけで、残りの93%は言葉以外の目や耳から入る情報が伝えているということです。受験や就職などで行われる面接では、回答の内容も大切ですが、面接官は回答内容以外の目や耳から入る情報から、受験者の「本当の姿」を読み取っているのだと思います。だからこそ、答えを書くテストではなく面接をしているのです。

話す内容以外の情報とは何でしょう。耳から入る情報としては、声の大きさや勢い、話す速さなどがあります。話しかけるように丁寧に話したり、相手が聞き取りやすいような速さで話したりすると、聞いているほうは安心して聞くことができ、話している内容もしっかりと伝わります。弱々しい声、元気がない声だと、自信がなさそうに聞こえますね。早口だったり、声が上ずったりしていても、聞いている人の心には響かないのではないのでしょうか。

目から入る情報としては、視線、表情、体の動きなどがあります。しっかり相手の目を見てうなずいたり、真剣な表情や笑顔があつたりすると、相手の安心や信頼につながります。また、しっかりとした姿勢や会釈だけでも真剣さが伝わってきます。逆に、目線を合わせずに声だけで返事をしたり、くずれた姿勢で答えていたりしていると、嫌々話しているように感じたり、いい加減に答えているように感じます。そして、回答の内容がどんなに良くても相手の心には響きません。このような体の動きや表情、声のトーン等は無意識のうちに出てしまうことが多いです。

言い換えれば、言葉の内容よりも、このような言葉以外の行動が、その人の「本当の姿」を表してしまうのかもしれない。

普段から、相手を大切にしたいコミュニケーションをしている人は、面接などの場面でも自分の良さを相手に伝えることができます。逆に、普段、いい加減なコミュニケーションをする癖がついている人は、大切な場面でも、どんなに準備したつもりでも、その癖が出てしまうのです。

「誠意」という言葉があります。自分の大切な気持ち、真剣な思い、まごころ等を表すものです。このような「誠意」は言葉だけでは通じません。表情やしぐさ、態度など、言葉以外からも「誠意」が伝わります。

皆さんの誠意は相手に通じていますか？誤解されていませんか？伝える習慣を身に付けていますか？皆さん一人一人は、純粋で素晴らしい個性をもっています。その素晴らしさや素直さ「誠意」を伝える習慣を身に付けましょう。

「誠意」を伝える大切な場面が挨拶です。私は、毎朝、玄関で皆さんと挨拶をします。元気に大きな声で挨拶してくれる人、静かだけどしっかりと目を見て会釈してくれる人、どちらも誠意が伝わってきてうれしくなります。こちらが挨拶しても、よそ見をしながら、そのまま通り過ぎる人がいるとなんだか悲しくなります。「残念だなあ」とも思います。

「相手が～さんだから・・・」「今日の気分は・・・」ではなく、どんな場面でも、誰に対しても「誠意」を示す挨拶ができる。神中の生徒は、そうあってほしいと思います。

次のような挨拶で誠意を伝える神中生になってほしいと思っています。



バス降車時に運転手さんにあいさつをする生徒

1 挨拶は必ず返す 名前を呼ばれたらしっかりと返事をする

挨拶はキャッチボールです。返事をする事で相手と心が通います。挨拶で、お互いが安心して、つながりを感じます。

2 挨拶では目を合わせる 優しくうなずく 会釈をする

目には思いを伝える力があります。声がなくても、うなずいたり会釈をしたりするだけでも、気持ちは伝わります。

3 相手より先に挨拶

挨拶は、「よろしくおねがいします」という気持ちを伝えるものです。相手がしてくるから挨拶するのではなく、自分から挨拶することが、自分の誠意を表すことになり、お互い元気もやる気も高まります。

合同部活動で講演会を行いました。

神林中学校では、NPO 法人希楽々と連携して、11月から3月の火曜日に合同部活動を行っています。(合計 11 回を予定しています。)

部活動の種類を越えて必要な技能や知識を身に付ける機会として、コンディショントレーニングや短時間で効率的に運動量を確保するトレーニングを行ってきました。

1月23日の合同部活動では、その一環として応急処置の基本について、新潟リハビリテーション大学の若菜翔哉先生からご指導いただきました。

応急処置の目的や一番発生率の高い捻挫への対応として「RICE 処置」についてご指導いただきました。

リハビリテーション大学の学生の方もおいでいただき実際の手当の様子も交えてご講演いただきました。初期の応急処置の違いで、完治までの期間が2週間以上も違う例もあるということで、生徒は真剣に参加していました。



性についての指導

1月25日(木)の5、6時間目、3年生の生徒を対象に性に関する講演会を実施しました。

講師に長岡市で助産師・思春期保健相談士をされている酒井由美子様をお招きしました。酒井様は、命のかけがえのなさ大切さを伝え、「性」についての正しい理解のために、助産師業務の合間を縫って小、中、高校生やその保護者を対象とした講演活動をしている方です。

当日は、「思春期の特性や変化」「大人になるために知っておきたいこと」「性の多様性」「15歳の生と性」についてお話しいただきました。

お話の中には、大切な命、かけがえのない命についての話とともに、科学的、医学的、生物学的なデータや犯罪の被害にかかわる内容もありました。生徒は、自分が将来直面する「性」に関わる実際やぶつかるかもしれない問題についてのお話を聞き、自分のこととして真剣に考えていました。

講演後の感想では

「責任をもって行動することの大切さと、嫌なことは嫌だと伝えることの大切さを学びました。」

「自分が今、元気でいられるのは、家族や周りの人のお陰だと分かって、命は大切だと思った。」

「もしパートナーがいたとしたら、どんなことが起きても責任をもっていられる大人になりたい。」

というような言葉がありました。義務教育を終え、旅立つ3年生にとって、少し刺激的でしたが大切なことを学ぶことができた講演会でした。



今年度最後の定期テストを終えて

IV期テストを2月8日(木)、9日(金)に行いました。

今年度最後の定期テストということで、どの学年もテストへ向けての学習を頑張っていました。スクールバスの中で勉強する生徒や昼休み教室で一緒に勉強している生徒もいました。テスト前の質問教室では、疑問が解決し「なんだ、そうだったのか。」と笑顔になる生徒もいました。

テスト前3日間を見てみると各学年の平均学習時間は120~140分、メディア時間の平均は80~120分と学習時間が上回っていました。睡眠時間の平均も7時間程度で、バランスのとれた生活の中で定期テストの勉強をしています。健康と学習、リラックスする時間のバランスをとって過ごしている姿が素晴らしいと思います。



学習委員会は、クラスごとに家庭でのテスト勉強の時間を集計し「家庭学習しようぜ選手権」を行いました。2月22日の生徒朝会でその表彰が行われ、優勝した1年1組、準優勝の3年1組に学習委員長から賞状や手作りのユニークな記念品(金の電卓)が贈られました。

3年生への感謝を伝える 「3年生ありがとう企画」

これまで学校を引っ張ってくれた3年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、来年度のリーダーが中心となって行う企画の第一歩とするため、新委員長を中心に1、2年生の各委員会が企画を考え、2月26日から卒業式までの期間「3年生ありがとう企画」を行いました。工夫を凝らした様々な企画を通して、全校生徒の「思う心」が学校を優しく包み込んでいました。

環境委員会【階段デコレーション】

- ・1、2年生が書いたメッセージカード等を階段に貼って飾り付ける

学習委員会【入試対策！予想問題】

- ・階段や廊下に今まで習った重要ポイントを書いて掲示する。

学級委員会【受検応援メッセージ】

- ・1、2年生が書いたメッセージカードを模造紙に貼って渡す。

生活委員会【運動不足改善期間と合格祈願お守り作り】

- ・3日間連続で3年生に体育館利用を可能にする。
- ・合格祈願のお守りを作り、クラスに1つずつ渡す。

図書委員会【3年間の思い出をこのしおりに込めて】

- ・本のしおりに作って3年生全員に渡す。

放送委員会【3年生ありがとうラジオ】

- ・3年生に対するありがとうエピソード+3年生の好きな曲を昼の放送で流す。

保健委員会【サンキュー！ポケットメッセージ】

- ・ポケットティッシュにメッセージを書いたものを3年生全員に渡す。



学校運営協議会・学校保健委員会を行いました。

2月22日、第4回学校運営協議会と学校保健委員会が行われました。授業参観の後、後期の学校評価について報告し、今年度の神林中学校の教育活動についてご意見をいただきました。

その後、学校薬剤師の鈴木さわ子様にお越しいただき、運営協議会の皆様とともに、学校保健委員会を行いました。生徒の体格や健康、運動、生活習慣等の状況について報告し、神林中学校の生徒の長所や取組の成果、課題などについてご意見をいただきました。校内では各分掌で今年度の教育活動や生徒の成長について成果と課題をとりまとめ、来年へ向けての改善点を協議しています。今回いただいたご意見をしっかりと受け止め、来年度の教育活動の改善に確実に生かしていきたいと思っております。

3月～4月の予定

3月

- 5 火 第5回卒業証書授与式
- 6 水 公立高校一般入試学力検査
- 11 月 4限授業 給食後下校
- 12 火 4限授業 生徒会専門委員会 合同部活動
- 13 水 4限授業 給食後下校 職員会議
- 14 木 生徒朝会 5限授業参観 PTA懇談会
- 15 金 4限授業 給食最終日
- 18 月 4限授業 給食なし下校 (21日まで)
- 19 火 合同部活動最終日
- 21 木 生徒会企画 部活なし
- 22 金 終業式 離任式
- 23 土 学年末学年始休業開始 (~4/7)

4月

- 8 月 始業式 新入生オリエンテーション
- 9 火 入学式
- 10 水 発育測定 全校集会
- 11 木 生徒会入会式 1年生仮入部開始 (~16日)
- 12 金 PTA理事会・評議員会
- 15 月 地区生徒会
- 17 水 職員会議
- 18 木 全国学力学習状況調査 (3年)
- 19 金 部活動集会
- 20 土 オープンスクール PTA総会
- 22 月 振替休日 (20日分)
- 24 水 3年修学旅行 (26日まで)



